

1 札幌市内の被害状況（概況）

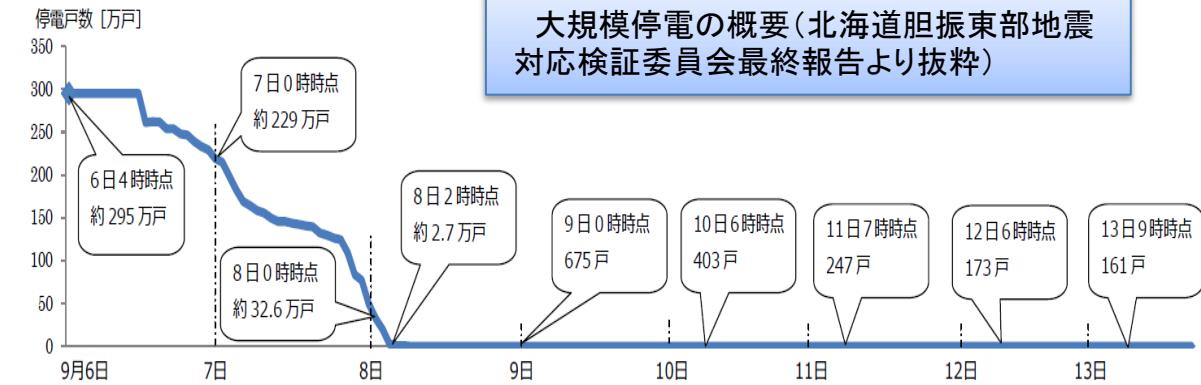
地震等の概要（札幌市公式HPより）

- 本震 : 平成30年9月6日 午前3時07分
- 震源地 : 胆振地方中東部、深さ37km（暫定値）
- 震度 : 市内最大震度6弱（東区）
- マグニチュード : 6.7（暫定値）

災害の概況（札幌市公式HPより）

- 人的被害の状況（1月11日現在）
死者1名、負傷者297名（重傷1名、軽傷296名）
- 物的被害の状況（1月10日現在）
住家棟数 : 全壊95、半壊680、一部損壊4,323
非住家棟数: 全壊7、半壊24、一部損壊184

<停電と復旧の状況>



2 札幌市医療対策本部

札幌市医療対策本部における対応

- 札幌市医療対策本部の設置
札幌市地域防災計画等に基づき、9月6日4時に札幌市保健所に設置
- WEST19のライフライン、通信手段
 - ・ 非常用自家発電により、発災直後から事務室での活動が可能
 - ・ ファイルサーバの使用、外部への電子メール送受信は数時間不可能
 - ・ 電話・FAX・インターネットは使用可能
 - ・ 札幌市医師会等の関係機関及び災害時基幹病院に設置されている防災行政無線は未活用
- 医療機関の被災状況等に関する情報収集
市内医療機関のライフラインや診療状況等について、広域災害救急医療情報システム(EMIS)を用いて情報収集
- 各区応急救護センターとの連絡調整
各区保健センターに設置される応急救護所等の開設状況や傷病者の有無等について情報収集
- 慢性腎不全患者の人工透析に係る調整
札幌市医師会、札幌市透析医会協力のもと、関係医療機関への連絡調整及び受入交渉
- 医療機関への燃料供給および電源車配置の調整
非常用自家発電装置の燃料不足による要請に対応（53施設から給油の要請）
- 医療機関への食糧供給の調整
EMIS等の情報をもとに、食品の提供が可能な業者を案内するなどして対応（9/6～9/9の間に、97施設で食糧不足を確認）
- 札幌医療圏DMAT活動拠点本部との連絡調整
医療ニーズ調査や医療機関支援を行う札幌医療圏DMAT活動拠点本部と連携
- 保健医療調整会議の開催
保健所・厚生労働省・北海道地域医療課・DMATロジスティックチーム・札幌市医師会・札幌歯科医師会・札幌薬剤師会による「札幌市保健医療調整会議」を9月9日に開催

課題

- 医療機関の被災状況等に関する情報収集
 - ・ 医療機関によるEMIS入力が多くなく、DMATと保健所による調査・代行入力に時間を要した
⇒ 医療機関向けのEMIS入力研修や合同訓練等を通じて災害時の迅速かつ頻回なEMIS入力の重要性を周知する必要あり
 - ・ 国、北海道、札幌市、DMATなど、様々な関係機関より重複した情報収集が行われた
⇒ EMIS未入力施設への聞き取り調査と代行入力について、優先順位と役割分担を明確化し、関係機関で整理する必要あり
- 医療機関の被災状況等に関する情報発信
 - ・ 情報把握に相当な時間を要し、市民等に対し医療機関情報を十分に提供できなかった
⇒ 情報収集体制及び情報発信体制を事前に整備する必要あり
 - ・ 基幹病院等の一部の医療機関情報が報道されてしまった
⇒ 重症傷病者が多い場合、基幹病院の情報が一般公開されると必要な医療を受けられなくなる可能性があるため、公表すべき医療機関情報について検討が必要
- 医療機関からの支援要請への対応
 - ・ 災害時における燃料や食糧の要請を想定していなかったため、対応に時間を要した
⇒ 関係機関及び関係部署との連携体制を構築することが必要
- 在宅人工呼吸器患者への対応
 - ・ 医療対策本部で情報収集が難しく、対応が困難であった
⇒ 関係機関及び関係部署との連携体制を構築することが必要
- 避難所等における医療ニーズの把握
 - ・ 避難所等における医療ニーズを十分に把握できなかった
⇒ 関係部署との連携体制を強化することが必要